

第1回 SSIサロン

生と死と、 命と

超 高齢社会の多様性

2018.6.25 Mon. 18:00-21:00

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

●参加費:軽食代1000円 ●定員:先着20名

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追求するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ(SSI)」を始動させました。SSIは「命を大切にし、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的にSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。記念すべき第1回は、2018年度のSSI協力プロジェクト「地域住民の死生観と健康自律を支える超高齢社会創生のための文理融合プロジェクト」の実践・研究成果を基として開催されるものです。

趣旨

戦後の経済発展の期間、我が国は「少死社会」でした。年間死者数が現在の約半分程度の時代が20年以上も続いたため、老いと死は徐々に離れたものになっていきました。死は、難病に冒された人々のみ自覚されていた時代だったのかもしれませんが。そして、それによって進んだ著しい高齢化の後に、年間死亡者数は急激に増加し、「多死社会」である超高齢社会に至りました。老いと死は、再び近づいてきました。健康増進や長寿化の進行の一方で、認知症者の増加、急性期疾患と慢性期疾患の複合化、障がい者の長寿化など、老いと死の多様性も高まりました。超高齢社会の生と死と、そして命について、改めて考えたいと思います。

プログラム

- 18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授
- 18:10 話題提供 山川みやえ 医学系研究科准教授
「くらしの中の認知症 ～認知症のある人の生活と社会資源～」
- 神出計 医学系研究科教授
「私の考えるsuccessful deathとは」
- 佐藤真一 人間科学研究科教授
「老年学と死生学 ～後半生のライフイベントから得る英知～」
- 堂目卓生 (前掲)
「『社会的弱者』と向き合うことによる人間の解放 ～ジャン・パニエの思想と実践～」
- 19:40 ディスカッション(飲み物・軽食を取りながら)

